

令和7年度 音楽科授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・音の高低や曲想の違いに気付いている。曲想や強弱を意識し、届けるように歌うことができてきた。(知技)
- ・音楽のよさや感じ取ったことを基に、どのように演奏するかについて思いや意図をもつことができた。(思判表)
- ・グループやペア活動では、主体的に取り組もうとする態度が育ってきている。(態)

(2) 課題

- ・音符や楽譜に親しみ、学年に応じた読譜・記譜力を身に付けて、音楽表現に生かすこと。(知技)
- ・音楽を特徴付けている要素に気付き、思いや意図をもって豊かな演奏表現につなげること。(思判表)
- ・友達と互いのよさを取り入れ、楽しみながら音楽活動に主体的・協働的に取り組むこと。(態)

2 授業改善のポイント(観点別)

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・音の高さに気を付けながら歌ったり、友達の歌声に耳を澄ましたりできるよう、活動を工夫する。 ・演奏に必要な器楽の技能を身に付けるために、段階を踏んで指導する。 ・必要に応じて個別指導を行う。	・音楽に合わせて、楽しく体を動かす活動を取り入れる。曲想を捉えて、旋律、強弱、反復等を聴き取り、歌や演奏に生かすことができるよう指導する。 ・ICTを活用して、リズムや旋律をつくる活動を取り入れる。楽しみながら、思考して音楽づくりができるよう指導する。	・グループやペア活動、ドラムサークルの活動を取り入れて、友達と関わりながら主体的・協働的に音楽活動に関わろうとする態度を育てる。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自然で無理のない、明るい声で歌えるよう、いろいろな歌を楽しく歌う中で発声指導を行う。 ・演奏に必要な器楽の技能を身に付けたり、思いを表現したりするために、グループ活動を取り入れて指導する。 ・器楽演奏、歌唱について、必要に応じて個別指導を行う。	・音符や楽譜に親しみ、音の高低や旋律、リズム、強弱、反復等の音楽の要素について、実感を伴った理解につなげ、表現の工夫に生かせるようにする。 ・ICTを活用して、曲の特徴に合った演奏を工夫したり、思いや意図をもって音楽をつくったりすることができるよう指導する。	・打楽器のリズムを即興的に演奏する。ドラムサークルの活動を通して、拍感や音楽性を養うと共に、他者の演奏や歌声を聴き、自己を尊重する態度を養う。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自然で無理のない、響きのある声で歌えるよう、頭声発声や胸声発声の指導を取り入れ、同声二部合唱を行う。 ・音楽を特徴付けている要素と関連付けて聴いたり、感じ取ったりしたことを、豊かな演奏表現に生かすことができるよう、演奏技能の向上を図る。 ・器楽演奏、歌唱指導について、必要に応じて個別指導を行う。	・学年に応じた読譜・記譜力を身に付けて、演奏表現に取り入れて生かすよう助言する。 ・音楽の構造や曲想を生かすと共に、思いや意図にふさわしい表現を工夫して演奏することができるようにする。 ・ICTを効果的に活用して、音楽づくりの活動を行う。思考したり工夫したりして音楽をつくりだす喜びを味わうことができるよう指導する。	・活動形態を工夫したり、ICTを活用したりして、友達同士教え合い、励まし合いながら、主体的・協働的に演奏に取り組めるよう指導する。 ・互いに聴き合ったり発表したりする活動を設け、自他を尊重する態度を養う。